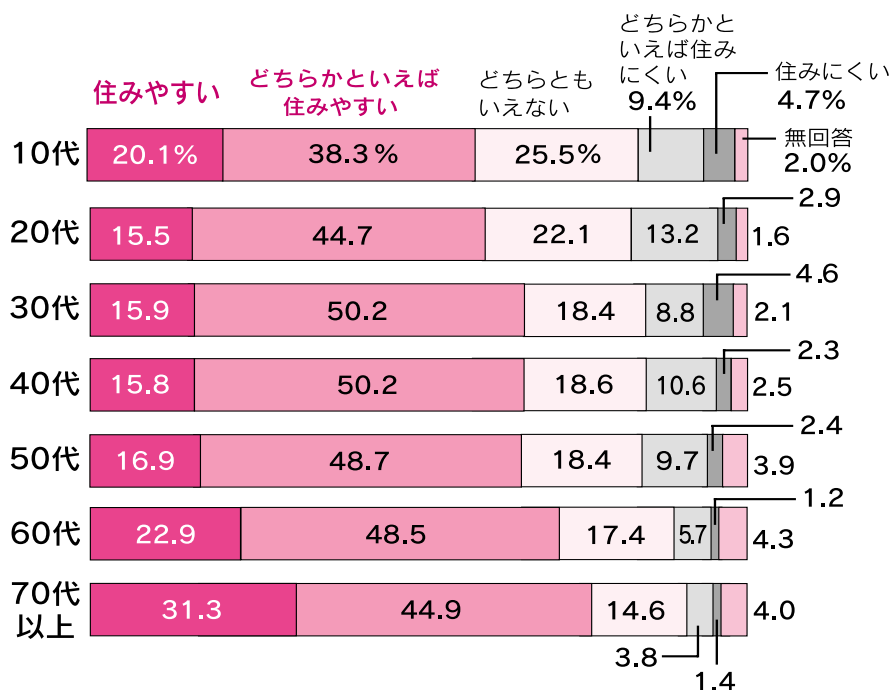


アンケートから見た市民の気持ち

秋田市は... 「年をとるほど 住みごこちが良くなる」

「秋田市しあわせづくり市民意識調査」平成17年10月

あなたは、秋田市の住みごこちを
どのように感じていますか？



若者はやや不満、 60歳以上になると満足

秋田市の住みごこちは、年齢が高くなるにつれ、住みやすいと感じているかたが増えていきます。

十代～二十代は、住みやすいと思っている人がやや少ない世代。「遊び場所がない」「刺激が少ない」「仕事が少ない」といったことが、ちょっとした不満になっているのでしょうか。

働きざかりの三十代、四十代、五十代は同じような満足度で、「住みやすいんだけど、やや満足しない部分もある」といった印象です。仕事のこと、家庭のこと、経済的なことなど、悩み(?)もいろいろあることでしょう。

それが六十代以上になると、住みやすいと感じているかたが、グンと増えていきます。自然が身近にある静かな環境のなかで、ゆっくりと暮らすのがいいのかもしれない。住んでいる所の欠点を気にかけるより、良いところを積極的に見つける努力をすることが、楽しく生活する秘けっかも。



自然の恵みを楽しむ(岩見川の鮎)



あなたの住みやすさのポイントは何？



秋田市 姉妹都市 フォーラム

市民の力で国際交流を進めていこうと設立された「秋田市姉妹都市フォーラム」。このコーナーでは、会員が取材した友好・姉妹都市の隠れた魅力、豆知識を紹介します。
秋田市姉妹都市フォーラム事務局
tel(866)2033(企画調整課内)

～蘭州市(中国・甘肅省)

昭和57年8月5日友好都市提携
北京から西北に約1,800^{km}、黄河上流に位置
人口約314万人 時差 - 1時間
日本から約6時間(飛行機で成田 北京約4時間、
飛行機で北京 蘭州約2時間)

中国のお正月事情 中国では、旧暦の1月1日(今年は2月18日)を「春節(しゅんせつ)」と呼び、新年のお祝いをするのが習わし。中国のお正月事情をちょっとご紹介しましょう。

数億人が帰省！ 民族大移動

春節の時期は1週間の休みとなります。ほとんどの人が大量のおみやげを持って実家に帰省し、家族みんなで新しい年を祝います。帰省の規模は億単位！ 交通機関も大混雑となり、まさに「民族大移動」。最近では、気候の温暖な東南アジアやヨーロッパに「お正月旅行」に出かける人も増えているそうです。「スイスでスキー」も人気があるとか。うらやましい…。

赤い色でお祝い

中国では赤がお祝いの色。お正月になると、町のあちこちに赤いちょうちんが飾られ、家々の門には、おめでたい言葉を書いた赤い紙が貼られます。子どもたちが楽しみにしているお年玉(压岁钱)も赤い袋(紅包)に入っています。ちなみに、日本でいうボーナスも、中国では「紅包」というそうです。



ちょうちんが町中を赤く染めます

年越しそば？ いえ、^{ぎょうざ}餃子です

中国北部では、「餃子で年越し」が当たり前。大晦日に家族みんなで作ります。形もいろいろで、小判型はお金に困らないように、船型は一帆風順(順風満帆)を願って…。餃子のいくつかには砂糖(しあわせ)、落花生(長寿)、コイン(金運)などを入れ、楽しみながら味わいます。



上/餃子に似た「炸油果」というお正月料理
左/新年おめでとう！



日本は「猪」、中国は「豚」!?

春節には、家の中に絵(年画)が飾られます。絵には、子孫繁栄を意味する魚や子どものほかに、干支(えと)も描かれます。今年是中国も亥年。ですが、中国で「猪」というのは「イノシシ」ではなく、「ブタ」のことなんです。豚は富の象徴でもあるそうですよ。



家族みんなが集まって、和気あいあいと過ごす中国のお正月。もうすぐ町のあちこちで、新年を祝う爆竹の音が鳴り響きます。

* 今回のフォーラム便りは、秋田県国際交流員の張瑜(ちやうゆ)さんに協力していただきました。(使用写真は蘭州市役所提供)

